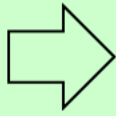


都市近郊の農地を引き受ける貴重な担い手として、水稲＋野菜の複合経営を実現  
～有限会社 今善トラクター（愛知県あま市）～

経営体の概要

平成2年  
基幹作物：水稲  
経営面積：40ha



平成29年  
基幹作物：水稲（主食用米、WCS、飼料用米）、  
露地野菜（キャベツ、ブロッコリー、たまねぎ等）  
経営面積：93ha（うち露地野菜5ha）

取組の経緯と経営転換のポイント等

ロコミや農協の仲介等により農地を引き受け、愛知県尾張地域の広範なエリアの水田において、農作業を行っている。

畜産農家から購入した堆肥の利用と、稲WCSと飼料用米の生産・出荷において県内畜産農家との耕畜連携に取り組んでいる。

不耕起V溝直播栽培の導入、作付品種の多様化等による省力化・作業平準化を進め、水稲と露地野菜の複合経営を行うことにより、経営の多角化や周年雇用の実現、規模拡大を進めている。

営農改善のポイント

①規模拡大・土地利用調整

ロコミや農協の仲介により、尾張地域の広範なエリアで、受け手がいないほ場を引き受けている。小区画で集積されていないほ場も引き受け、都市近郊の農業を支える貴重な担い手として、活躍している。



今善トラクターの皆さん

②省力化・作業平準化の取組

水稲に、不耕起V溝直播栽培を導入し、農繁期の育苗～田植え時期の労働時間を削減するとともに、水稲の主食用米・飼料用米等及び野菜各品目の作付品種を増やすことにより作期をずらし、省力化と作業平準化に取り組んでいる。

これらの取組により、規模拡大に対応し、水稲＋野菜の複合経営を可能としている。



不耕起V溝直播栽培の播種作業

③水稲＋野菜の複合経営

経営の多角化と、冬期間の雇用を創出し周年雇用を実現するため、平成22年から露地野菜を作付しており、現在は、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎ等を作付している。実需者からの要望もあり、今後は、収益力向上のため、キャベツの作付拡大や、新たに、はくさい、レタスの導入も検討している。



たまねぎのほ場

事業概要

事業種：国営総合農地防災事業  
関係市町：岐阜県岐阜市外2市2町及び  
愛知県名古屋市外12市5町  
受益面積：10,139ha  
事業期間：平成10年～平成34年  
事業目的：農業用排水施設の機能回復  
主要工事：頭首工改修1箇所 用水路改修 L=32.0km  
排水路改修 L=27.3km

位置図



<問い合わせ先>

東海農政局  
農村振興部農地整備課  
営農指導係  
電話：052-223-4638

（平成29年度調査時点）